

住まいの断熱性能・省エネルギー性能を上げ
さらには、太陽光発電などよりエネルギーを作ります。
それにより、年間の一時的消費エネルギー量(空調・給湯・照明・換気)の収支を
プラスマイナス「ゼロ」にする住宅を目指します。

ZEH 目標公表資料

中村工業株式会社では ZEH 普及計画を以下のように定め
2020年までに「ZEH」普及率を50%とする。

2017年度 (平成29年)	0%
2018年度 (平成30年)	10%
2019年度 (平成31年)	30%
2020年度 (平成32年)	50%

※2016年度総建築数、40棟

■ ZEHの周知・普及に向けた具体策

ZEH普及に向けて、販促ものを使い、普及に役立てる。のぼり旗の作成、広告媒体のなかにZEHの説明を加える。ホームページにZEHに関する記事を掲載。展示場内部にZEH説明内容公表。今までご来場頂いたお客様に対して、DMを活用しZEHに対するのメリットを入れて配布

■ ZEHのコストダウンに向けた具体策

基本的にコストダウンを目指すのではなく、イニシャルコストのリスクを説明するだけでなく、ランニングコストのメリットの説明し、お客様の理解を求める。将来的に展示場を建設する際、ZEH対応モデルルームにし、言葉だけではなくお客様の5感でもそのメリットを感じて頂ければコストダウンを考えずともお客様に理解して頂けると考える。

■ その他の取り組みなど

ご来場のお客様にZEHについてのメリットの説明。展示場での接客の際、お客様が理解できるように、ZEHに対して、分かりやすい内容が入った資料を作成する。また、ZEH対応の標準仕様を作成して、仕様内容もお客様がより理解できるように、書類を作成する。お客様を接客する営業マン、事務は、ロールプレイングなどを行い、正確に説明できるように日々訓練に取り組む。現場監督、設計、オペレーターなど、直接携わらない社員に対してもZEHを理解して頂き、書類を作成し、共有意識を持たせる。会社全体での取り組みとして、毎回の会議での議案としてZEHに対して10分間(約)時間を取る。